

愛知県

「あいちITSワールド2019」の開催及び「MaaS推進会議」の設置

(愛知県ITS推進協議会)

愛知県ITS推進協議会では、産・学・行政の連携により、普及啓発や調査研究等の取組を行っている。2019年度の主なトピックスは以下のとおり。

○「あいちITSワールド2019」の開催

ITSを広く一般の方に知っていただくため、名古屋モーターショーとの連携により開催した。4日間で延べ18万3,250人(モーターショー来場者数)が来場した。

開催概要及び各企画の内容は以下のとおり。群馬大学次世代モビリティ社会実装研究センターの協力により実施した自動運転バス試乗会では、延べ400名の方に最新の自動運転技術を体験いただいた。

<開催概要>

名 称	あいちITSワールド2019 ～テクノロジーが変えるモビリティ。もっと安全・安心・快適に～
日 程	2019年11月21日(木)～24日(日)
開場時間	9:00～18:00
場 所	ポートメッセなごや(名古屋市国際展示場)
主 催	愛知県ITS推進協議会、中部経済新聞社
特別協力	NPO法人 ITS Japan
後 援	(一社)日本自動車工業会、(公社)自動車技術会

◇講演会 「自動車の自動運転への取り組み」

日時：11月21日(木) 11:00～12:00

場所：交流センター 3階 会議ホール

講師：群馬大学次世代モビリティ社会実装研究センター
副センター長 小木津 武樹 氏



◇学生の研究発表「あいち発！ITS学生研究ライブ2019」

日時：11月21日(木) 13:00～14:30

場所：第1展示館内 特設ステージ

発表者：7大学(8研究室)計9名

愛知県立大学、愛知工科大学、愛知工業大学、
大同大学、名古屋工業大学、名古屋大学、名城大学

司会：愛知県立大学 小栗・河中研究室の学生2名

解説：ITS大学セミナーグループ 石 太郎幹事 始め5名



◇展示

企業・大学等のITS技術・研究展示(29企業等・大学)

◇参加体験イベント

自動運転バス試乗会、セーフティドライブ体験、超小型モビリティ試乗会、スタンプラリー



○「MaaS推進会議」の設置

新たな研究会として「MaaS推進会議」を設置し、2020年度から活動を開始することを決定した。

【目的】

交通事故の減少、交通渋滞の緩和、環境負荷の低減や高齢者等の移動手段の確保などの諸課題の解決や、ジブリパーク開業、アジア競技大会開催、リニア開業を見据えた移動の利便性向上を目指して、産・学・行政の連携により、MaaSの普及を推進する。

【構成員(2020年4月13日時点)】

学識者	名古屋大学 森川教授、名城大学 松本教授
国出先機関	中部経済産業局、中部運輸局
経済団体	名古屋商工会議所、中部経済連合会
市町村	20(愛知県はじめ県内市町)
事業者	27(自動車、通信、鉄道、バス、タクシーなど)

【活動】

最新情報の共有を図りながら、事業者間のデータ連携や料金設定等の課題整理、実証実験に向けた協議を始め、MaaSの社会実装に向けた諸活動を行う。具体的には、以下の取組を進めていく。

・県内における広域MaaSの推進

今後増加が見込まれる、本県への来訪者の移動の利便性向上・効率化を図るため、県内広域におけるマルチモーダルサービスの早期実装を目指す。

・地域におけるMaaS、新型輸送サービスの推進

地域における交通分野の課題解決を図るため、MaaSや新型輸送サービス(オンデマンド交通、グリーンスローモビリティ、自動運転等)を推進する。

・国への要望

国による制度改正や支援等、国への要望事項について検討する。